

仮設住宅研究会

2018

9 / 1 土 14:00~17:15

以前は研究する人が少なかった災害後の仮設住宅ですが、阪神・淡路大震災のころから応急仮設住宅が建設されるような大きな災害がしばしば発生するようになり、多くの人が仮設住宅について研究するようになりました。その結果、仮設住宅に関する研究者も増え、研究成果も着実に蓄積され、「学」として仮設住宅研究を確立することが可能な段階となってきています。

これまでの仮設住宅研究は、災害が発生した後「大変だ」「問題だ」ということで実施されてきたこともあり、「現場で役に立つ」ということを主眼として実施されてきたように思われます。もちろん役に立つことも重要ですが、「学」のもう一つの側面として「楽しむ」「愛でる」「コレクション」ということがあります。この「仮設住宅研究会」では、仮設住宅に関して重箱の隅をつつくようなことを研究者相互で情報交換していききたいと思います。

- 14:00-14:30 牧紀男
応急仮設住宅の変遷 —木造, プレハブ, 借り上げ・木造—
- 14:30-15:00 平田隆行
伝統的避難住宅「水上げ小屋」と1953年の応急仮設住宅
- 15:15-15:45 益邑明伸
災害復興過程の産業用仮設施設に対する公的支援の変遷と近年の動向
- 15:45-16:15 岩佐明彦
「熊本型デフォルト」仮設住宅の現状
- 16:15-16:45 大月敏雄
コミュニティケア型仮設住宅の計画・実践・評価
- 16:45-17:15 田中智之
小規模仮設団地におけるコミュニティスペースの計画

9 / 2 日 10:00~15:30

- 10:00-10:30 前田昌弘
仮設住宅住環境改善支援の実践的研究 —気仙沼市本吉町での活動を事例に—
- 10:30-11:00 阪田弘一
規格型応急仮設住宅の内装改善実験
- 11:30-12:00 伊庭千恵美
仮設住宅の温熱環境に関する調査レビュー
- 13:00-13:30 本間義規
岩手県における応急仮設住宅の温湿度環境実測と熱湿気性状解析に基づく小屋裏結露防止
- 13:30-14:00 佐藤慶一
想定首都直下地震後の仮設住宅
- 14:30-15:00 原野泰典
海上コンテナによる多層型仮設住宅の計画と建設
- 15:00-15:30 全体討議



入場無料・申込不要

会場 京都大学宇治キャンパス
防災研究所 連携研究棟 3階 大セミナー室
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄
JR 奈良線 「黄檗駅」 徒歩 10 分
京阪宇治線 「黄檗駅」 徒歩 11 分

お問合わせ Phone : +81-774-38-4285
E-mail : maki.norio.8v@kyoto-u.ac.jp

主催 京都大学防災研究所
京都大学防災研究所特定研究集会 (課題番号 : 30C-03 牧)

